

のだネット通信



中核地域生活支援センター のだネット（千葉県委託事業・野田健康福祉圏域）

<http://homepage2.nifty.com/noda-net/>

TEL 04-7127-5366 / FAX 04-7127-5367

〒270-0235 野田市尾崎840-32 / E-mail noda-net.kusunoki@nifty.com

評価会議が開催されました

平成31年1月10日に評価会議が開催されました。評価会議の目的は、各中核地域生活支援センターの優れた活動を評価するとともに、不足している部分を把握・助言し、今後のセンターの活動の一助とするということを重点に置いています。1度に3～4センターが集まり、事前に提出した資料を基に活動を説明し、評価委員の方々に質問を受けたり、助言を頂いたりします。のだネットでは今年度から毎週カンファレンスを実施していること、月に1回、地域の職員向けに勉強会を開催していることを報告しました。

中核センターが14年を経過して、社会状況も変わり、中核センターの役割が変化してきました。当初は丸抱えで対応するしかなかったところも、現在は繋いでいく、または繋ぎ直して行くことが役割となっています。評価委員の方からは「中核の役割を整理して行政へ伝えて行く必要がある」と助言して頂き、今年度の課題として取り組んでいきます。

他のセンターの活動状況も聞くことができるので刺激にもなり、日頃の活動を振り返る機会になりました。

（記：五十嵐）

野田健康福祉センター・中核地域生活支援センター連絡調整会議

中核地域生活支援センター事業の実施要綱に「地域の関係機関や関係者と地域課題の共有等を図るため、健康福祉センターとともに、連絡調整会議を開催する」と規定されており、平成31年2月28日（木）に開催しました。「松戸公共職業安定所野田出張所、野田特別支援学校、野田市消防署、野田市児童家庭課・障がい者支援課・介護保険課・高齢者支援課、野田市保健センター、子ども支援室、野田芽吹学園、野田市障がい者団体連絡会、野田市肢体不自由児者父母の会、野田市手をつなぐ親の会、メンタルサポート野田そよかぜ」と多くの関係機関の方々にお集まりいただくことができました。

今年度は中核と障害者グループホーム等支援ワーカーからの報告の他に、子ども支援室から事業の内容についてお話をいただきました。子ども支援室では「子育ての総合相談窓口」「母子手帳の交付」「子育て支援情報サイト『にじいろnavi』」を大きな柱に妊娠から18才までのお子さんの健やかな成長と子育てをサポートされています。長い経過を継続的にサポートしてもらえる安心感は妊娠されたお母さんにとっても、生まれてくるお子様にとっても心強いものになります。

子ども支援室 電話：04-7125-1134

にじいろnavi【URL】<http://www.city.noda.chiba.jp/kosodate/index.html>

今後も、年1回にはなりますが、会議を通して、地域におけるニーズや社会資源の把握など行っています。

（記：五十嵐）

～ 地域の新しい事業所紹介～

紙ふうせん

障がいがあってもなくても、自分らしく、
お互いを尊重し、少しでも楽しく働ける



平成31年1月7日より「就労継続支援B型事業所」
としてオープンされました。もともこの場所で22年間、リサイクルショップやレストラ
ンをはじめ様々な地域に根付いた活動をされてこられました。その中で色々な出会い
があり、障がいのある方への支援を始めることになりました。

主な作業内容：リサイクルショップ品物の仕訳・整理・販売。
レストラン接客・配膳、調理補助、掃除。
畑での農作業

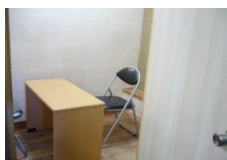
利用対象者：身体障がい、知的障がい、精神障がい、発達障がいのある方
(※手帳の有無は問いません)
利用には障害福祉サービス受給者証が必要になります

作業日程：月曜日～金曜日9:30～15:00(送迎なし)

定員：20名



広い作業スペースも
あります



相談室もあります

就労継続支援B型を利用する以外
でもレストランやリサイクルショップ
へ是非足をお運びください。
オレンジカフェや子ども食堂もやっ
てます♪詳しくはお問合せ下さい

<お問合せ先>

(企) ワークス・コレクティブ 紙ふうせん
野田市清水167-10

mail:kamifuusen-s@fbz.t-com.ne.jp

http://kamifusen1.exblog.jp/

TEL/FAX 04-7123-3965

(記:五十嵐)

お知らせ

電話de詐欺→強盗に?!「アポ電」強盗にご注意を!

東京都内において電話de詐欺が目的と思われる嘘の電話(アポ電)を掛けてきた犯人が、資産や現金の保管状況などについて聞き出し、その数日後に被害者宅へ押し入り現金を強奪する事件が連続して発生しています。千葉県でも発生する可能性がありますので次の対策を↓

- 電話で現金の保管状況、家族の情報などを安易に教えないこと
- 相手が何者かを確認しないまま、安易に玄関を開けないこと
- 犯人からの電話に出ないため、家の電話機に留守番電話設定などの対策をすること

研修等報告

□野田市地域生活支援拠点等整備準備会研修会

平成31年2月15日(金)17時より「地域生活拠点と共生社会に向けて～輪島市における生涯活躍のまちづくり事例を参考に～」をテーマに公益社団法人青年海外協力協会の堀田直揮氏より講演がありました。青年海外協力協会は青年海外協力隊の帰国隊員を中心に組織され、青年海外協力隊で培った精神と経験を社会に還元することを目指されています。

「生涯活躍のまち」とは地方創生の観点から、中高年齢者が希望に応じて地方や「まちなか」に移り住み、地域の多世代の住民と交流しながら、健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができる地域づくりを目指すものです。

初めて手掛けた「西圓寺」は「ごちゃまぜの力」をスローガンに高齢者の働く場・デイサービス・憩いの場、障害者の働く場・生活介護、地元住民の温泉の利用・カフェの利用、子どもの遊び場・駄菓子屋と様々な機能がごちゃまぜになりながら繋がりが活発になりました。世帯数も55世帯から10年で75世帯になったそうです。

輪島市では空き家が点在し人通りが無かったまちを温泉を使って活性化を図りました。地元住民は無料ではいることができ、そこに交流がうまれました。空き家をイノベーションして建てられた福祉・医療サービスはどれもお洒落で自然と人が集まる環境になっています。

共通して言えるのは、居心地の良い空間になっているということ。子どもから高齢者まで男女、障がい・疾病の有無、国籍等に関わらず、すべての人が活躍できるということが素晴らしいと感じました。
(記:五十嵐)

□こころネット・ハートゆう講演会

＜講師＞木野崎病院・精神保健福祉士・並木 徹 氏

『どうしたら受診に繋がられるか？』

通院させたい家族の思い・・・』



ひきこもり・発達障がい・精神障がい、医療機関にかかりたくない、若しくは病識の無いご家族をお持ちに方の相談が増えています。

講演会より

【どうすれば良いのか？】誰に話して良いのかわからない・・・【どこに相談すれば良いのか？】少し病気が疑われるようであれば、精神科の病院やクリニック、保健所の相談窓口ご連絡してみましょう。

のだネットをはじめ、理解のある団体や施設、地域の民生委員または仲の良い近所の方などに相談すれば、助言や紹介をしてくれる場合もあります。誰かに話すだけでも少し気持ちが楽になります。

【話を聞いて状況を整理します】相談内容によっては、専門的な所で聞いて貰った方が良いか、病院で話を聞く場合もある。一緒に考え、一緒に整理をするのも必要です。【受診・通院が必要か？】自宅の中で目に見えるほどの問題行動がある場合は、受診が必要と思うが、病気と判断できない場合もあります。受診の必要性、緊急性などを考え、状況に応じて医師に相談することもあります。

【ひきこもりの相談】ひきこもりの定義として『仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせず、6ヶ月以上続けて自宅にひきこもっている状態・時々買い物などで外出することもあるという場合も「ひきこもり」に含める』と厚生労働省はしています。「受診に繋げる」難しさが一番ある相談と言えます。ひきこもりの方への対応を専門にしている医療機関・支援施設などへ相談をお願いします。【精神症状があるが受診を拒否する相談】一緒に受診までの方法を考えさせていただく。精神科に行くということ自体が嫌、家族の話を素直に聞けない。本人が信用している方から勧めてもらう。かかりつけの病院の主治医の紹介で受診に納得する方もいます。野田保健所では精神保健福祉相談の日が月2回あり、予約制で精神科医師と直接相談の機会があります。

(記:金城)

ゆったりカフェのお知らせ

障がいの種別は問わず、ふらっと遊びに来れる場を企画しています♪

【最近の活動】

- 11月11日(日) 調理 野田市中央公民館 調理実習室 参加者9名
お芋とリンゴを交互に重ねて煮ました。簡単でおいしく出来上がりました。
- 12月9日(日) クリスマス会 野田市中央公民館 調理実習室 参加者14名
ビンゴゲームをして楽しみました
- 1月6日(日) 新年会 野田市中央公民館 調理実習室 参加者13名
A3の用紙をいくつか使って床に並べてすごろくをしました。混み合ったりして反省点多かったですが楽しく過ごしました。
- 2月3日(日) 外食 参加者7名
のだネット近くの中華屋さんへ行きました。皆、自分の食べたいものを選んで食べました。外食する機会が無いから嬉しいとの声が聞かれました。

【今後の予定】(開始は13:00~)

3月3日(日) ひなまつり 野田市中央公民館 調理実習室 参加費100円

【来年度の予定】来年度は第3日曜になります!! 時間は13:00~

- 4月21日(日) つつじを観る会 清水公園駅前集合(雨天中止)
- 5月19日(日) 防災について考える 野田市中央公民館予定 参加費無料
- 6月3日(日) 調理 野田市中央公民館予定 参加費100円
- 7月21日(日) お茶会 野田市中央公民館予定 参加費100円
- 8月9日(日) ゲーム大会 野田市中央公民館予定 参加費無料
- 9月15日(日) ニュースポーツ 野田市中央公民館予定 参加費無料
- 10月20日(日) 産業祭を楽しもう 野田市中央公民館玄関前集合
- 11月17日(日) カフェへ行こう 野田市中央公民館玄関前集合
- 12月8日(日)※第二 クリスマス会 野田市中央公民館予定 参加費300円
- 1月19日(日) 新年会 野田市中央公民館予定 参加費100円
- 2月16日(日) 絵手紙又はぬり絵 野田市中央公民館予定 参加費100円
- 3月15日(日) 調理 野田市中央公民館予定 参加費100円

○は青年学級と合同開催です

(問い合わせはのだネットまで)

編集後記

救えなかった幼い命について考えると胸が痛くなります。自分の仕事にも振り返り、サインを見逃していないか、当事者の方にきちんと向き合っているか…考えずにはられません。

今後、より一層関係機関と連携して支援してまいります。

(記:五十嵐)

